

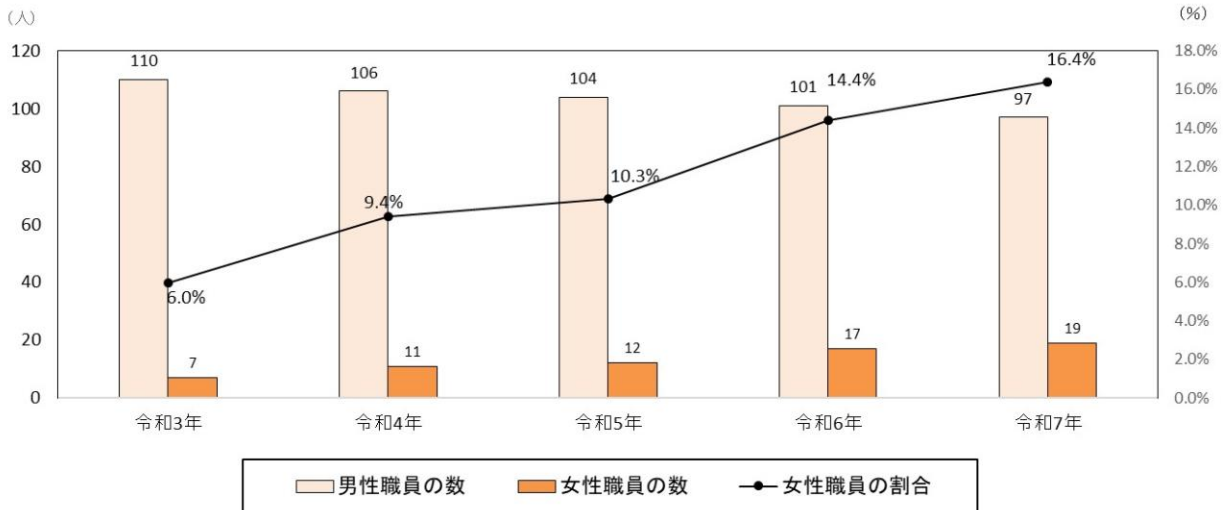
VIII 防災

1 防災等について

(1) 千葉県防災危機管理部における女性職員の割合(千葉県)

千葉県防災危機管理部における女性職員の割合は、近年、10%前後で推移しています。

図表VIII-1 千葉県防災危機管理部における女性職員の割合

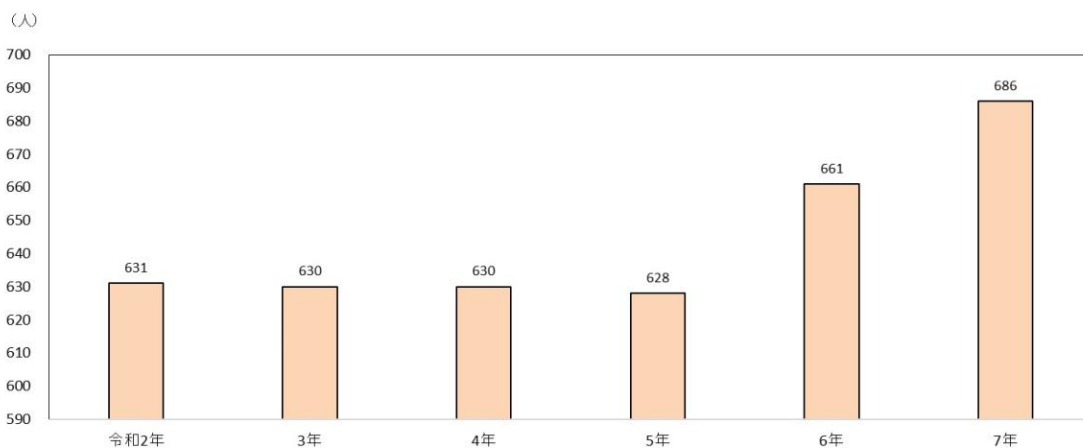


資料出典:千葉県危機管理政策課(各年4月1日現在)

(2) 県内消防団における女性消防団員数(千葉県)

千葉県内消防団における女性消防団員数は、令和2年以降、横ばいで推移していましたが、令和6年に増加しました。

図表VIII-2 県内消防団における女性消防団員数(千葉県)



資料出典:消防庁「消防団の組織概要等に関する調査」(各年4月1日)

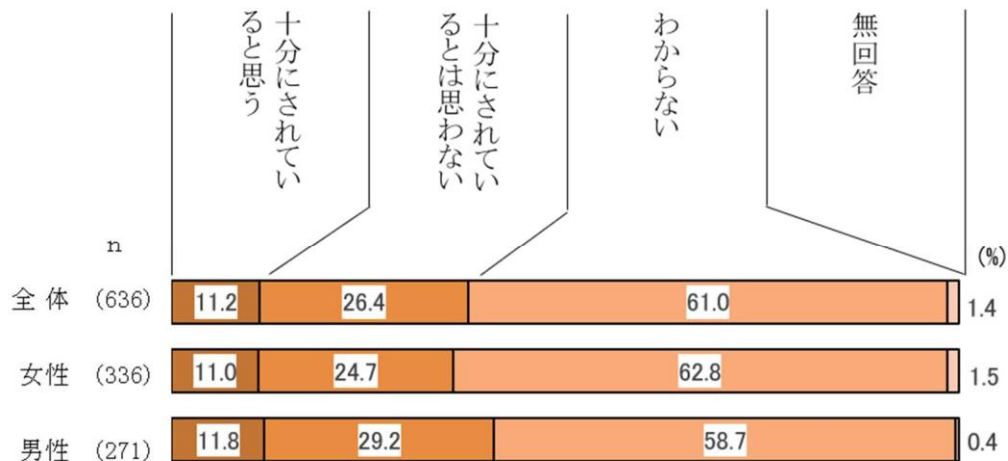
第1部 千葉県における男女共同参画の状況 Ⅷ 防災

(3) 男女共同参画の視点に立った取組の充足度(千葉県)

県民意識調査において、男女共同参画の視点に立った取組の充足度について聞いたところ、「十分にされていると思う」は11.2%、「十分にされているとは思わない」は26.4%、「わからない」は61.0%となっている。

性別にみると、「十分にされているとは思わない」と答えた男性は女性よりも4.5ポイント高くなっている。

図表Ⅷ-3 男女共同参画の視点に立った取組の充足度(千葉県)



資料出典:千葉県多様性社会推進課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和6年10月)

第1部 千葉県における男女共同参画の状況 Ⅷ 防災

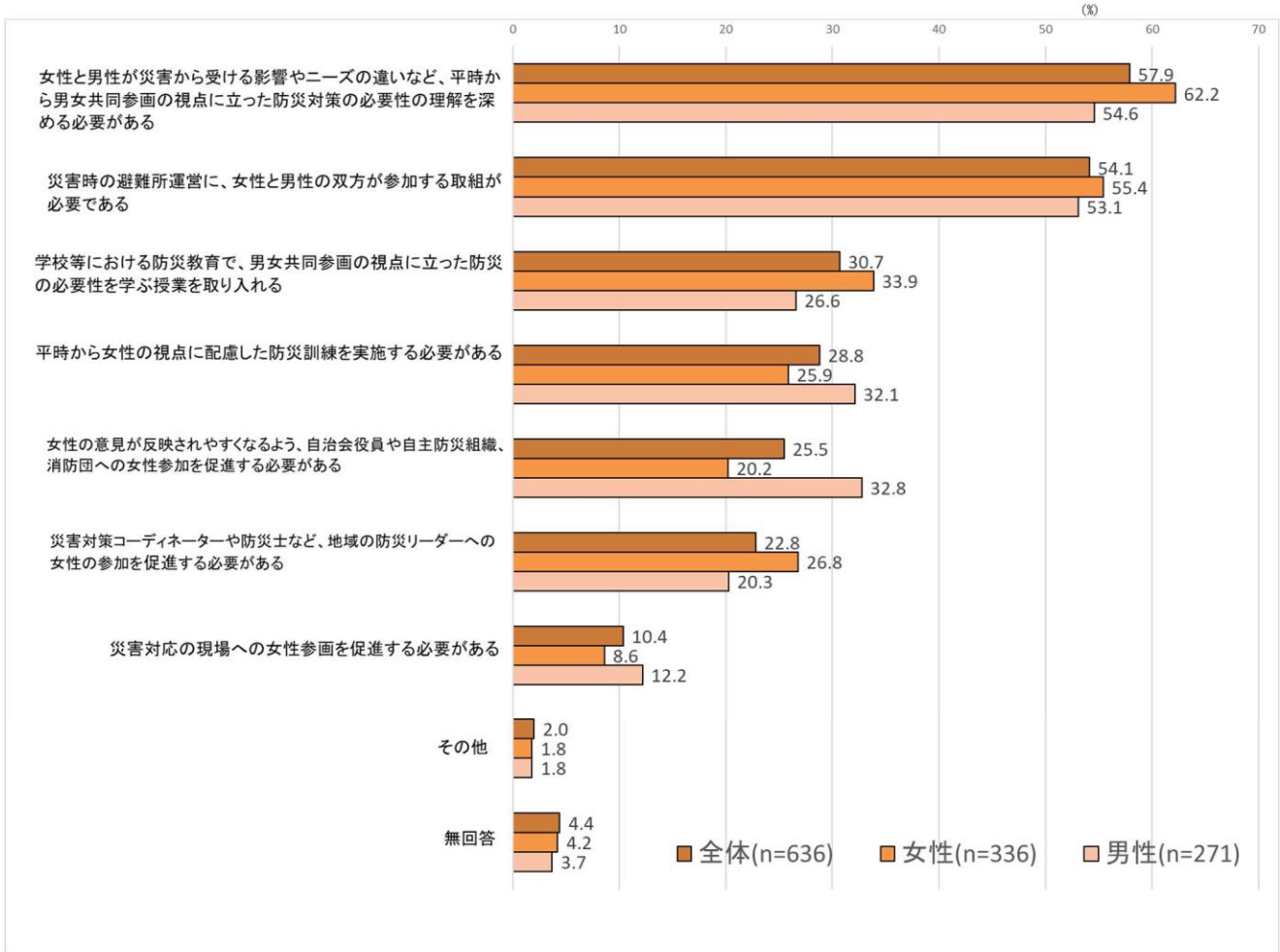
(4) 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進に必要なこと(千葉県)

県民意識調査において、男女共同参画の視点に立った防災対策の推進に必要なことで割合が高いのは、「女性と男性が災害から受ける影響やニーズの違いなど、平時から男女共同参画の視点に立った防災対策の必要性の理解を深める必要がある」(57.9%)、「災害時の避難所運営に、女性と男性の双方が参加する取組が必要である」(54.1%)で、5割を超えている。

性別にみると、女性が男性よりも割合が高いのは、「女性と男性が災害から受ける影響やニーズの違いなど、平時から男女共同参画の視点に立った防災対策の必要性の理解を深める必要がある」で7.6ポイント、「学校等における防災教育で、男女共同参画の視点に立った防災の必要性を学ぶ授業を取り入れる」で7.3ポイント、それぞれ高くなっている。

男性が女性よりも割合が高いのは、「女性の意見が反映されやすくなるよう、自治会役員や自主防災組織、消防団への女性参加を促進する必要がある」で12.6ポイント高くなっている。

図表Ⅷ-4 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進に必要なこと(千葉県)



千葉県多様性社会推進課「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和6年10月)